



大杉っ子

教育目標：すすんでとりくむ子 おもいやりのある子 けんこうな子

令和6年4月30日
学校便り5月号
江戸川区立大杉小学校
校長 藤田 暁美



努力は決して裏切らない

副校長 青木 隆

新年度がスタートし、新たな決意のもと、子どもたちの頑張る姿がたくさん見られた1ヶ月でした。そんな中でも、5年生の子どもたちがマンション公園にごみが散らかっている状況を見て、自主的にごみ拾いをし、公園をきれいにしたということがありました。このようなことができる大杉っ子は本当に素敵で地域及び保護者の皆様にもこの学校だよりでお伝えさせていただきます。

さて、新たに藤田校長先生を迎え、校長先生の目指す「明日も行きたくなる、みんなの学校」を実現するために私たち教職員も「やる気」に満ちあふれています。それと同時に大杉小学校の課題である「学力向上」にも向き合い、取り組んでいこうという決意であります。そのためには、保護者の皆様のお力添えも必要になります。そこで私自身のお話をさせていただきます。

私が小学生の時、全く勉強ができない子でした。そのとき母が「まずは1年生の漢字からやるよ」と1日3問の漢字の書き取りから始めました。たった3問でも、勉強ができない私にとっては苦痛であったことを覚えています。いま考えると、3問という少ない数だったので、1年間続けられたのだと思います。次第に、確実に漢字が書けるようになり、自信をもち始めてきました。そのうち私は、漢字を書くことはもちろん、字を書くことも好きになり、授業でも黒板に書いたことをノートに一字一句、写すことが楽しくなってきました。家に帰ると、丁寧に書いたノートを母に見せるとともに、私自身も改めてノートを見返す（復習）習慣が付きました。すると、だんだん勉強が理解できるようになり、テストでもほぼ満点を取れるようになりました。どんなことでも続けていくことは大きな力となって自分に返ってくることを経験した私は、今も「できるまで努力すること」「決めたことはやり遂げること」を大事にしています。

たった1日3問、これを1年間続けた結果、できなかった勉強ができるようになりました。これは実践した人にしかわからないことですが、同じように大杉の子どもたちならできると思います。私が全国学力・学習状況調査で例年上位に入る宮城県に視察に行ったとき、関係者の方々が「学力向上には家庭の教育力が必要不可欠です。」とおっしゃっていました。学校はもちろん全力で子どもたちを指導していきますが、保護者の皆様のバックアップがあると、さらに子どもたちはやる気を出し、力が伸びていくと思います。

最後になりますが、全教職員で子どもたちをたくさん褒め、勉強ができる喜び、学校が楽しい等を味わうことができるよう頑張ります。保護者の皆様、地域の皆様1年間どうぞよろしくお願いたします。

